

支援の手だてリスト(具体例)

		① ことばを見つけよう	
		語を視覚的なまとまりとして素早く認識できる力	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
1	目標・ねらい 学習の評価	1) ・活動内容を具体的に示す ・児童生徒を主語にして「～する」「～できる」という表現にする ・一つの目標には二つ以上の内容を入れない 2) ・板書や紙に書くなどして、児童生徒が見て分かるように提示する 3) ・まとめの時間に授業の振り返りを必ず行う	1) ・振り返りシートなどを活用し、目標やねらいについての自己評価をさせる ・言語化が難しい児童生徒の場合は、項目を示し、○×でチェックさせる 2) ・シールなどによるポイント制を利用する
2	授業の構成	4) ・音読の時間を十分にとる ・教師が音読の手本を示す ・黙読はできるだけ避ける ・読んだ内容については丁寧に確認する	4) ・読むことに一生懸命で内容が理解できていない場合は、文章の意味を丁寧に理解させる
3	学習のルール	5) ・うまく話せないときの合図を学級のルールとして決めておく 6) ・本の持ち方、読むときの姿勢を指導する ・「、」「。」で一息入れて読ませる ・適当な声の大きさと読ませる ・友達が途中で読めなくなったときにすぐに教え合える支持的な関係をつくる	5) ・途中で読めなくなったときに、「手を挙げる」「お助けカードを出す」などの合図を決める